

知っておこう!!

大人が見えても、子どもには見えていないことを!!

大人と子どもの視野は全く違う!!

子どもたちの視野は大人の半分 子どもの視野はとても狭いのです!!

6歳児の場合

垂直方向で大人120°に対して子どもは70°

水平方向で大人150°に対して子どもは90°

子どもの目の高さは大人と比べて格段に低く、見える範囲がとても狭いのです。

左右の視野角

150°

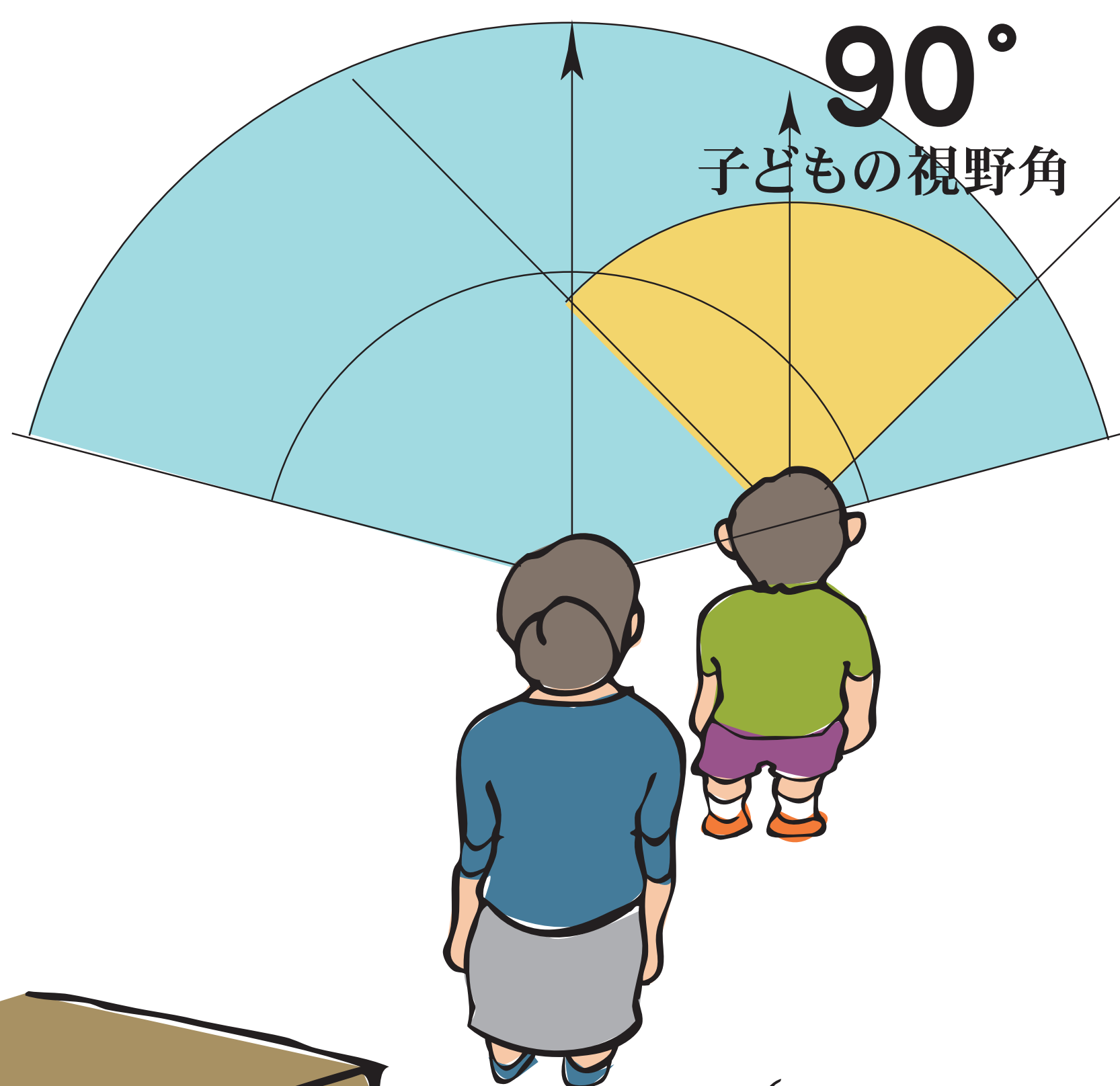
大人の視野角

90°

子どもの視野角

● 見えていそうで見えていない足元

- 室内や屋外でちょっとした段差で転ぶ
階段を下りる時に前を見ると、足元が見えていないために転ぶ。
- 家具や建物に体をぶつける。
- 屋外で放置自転車のサドルやハンドルに頭部をぶつける。



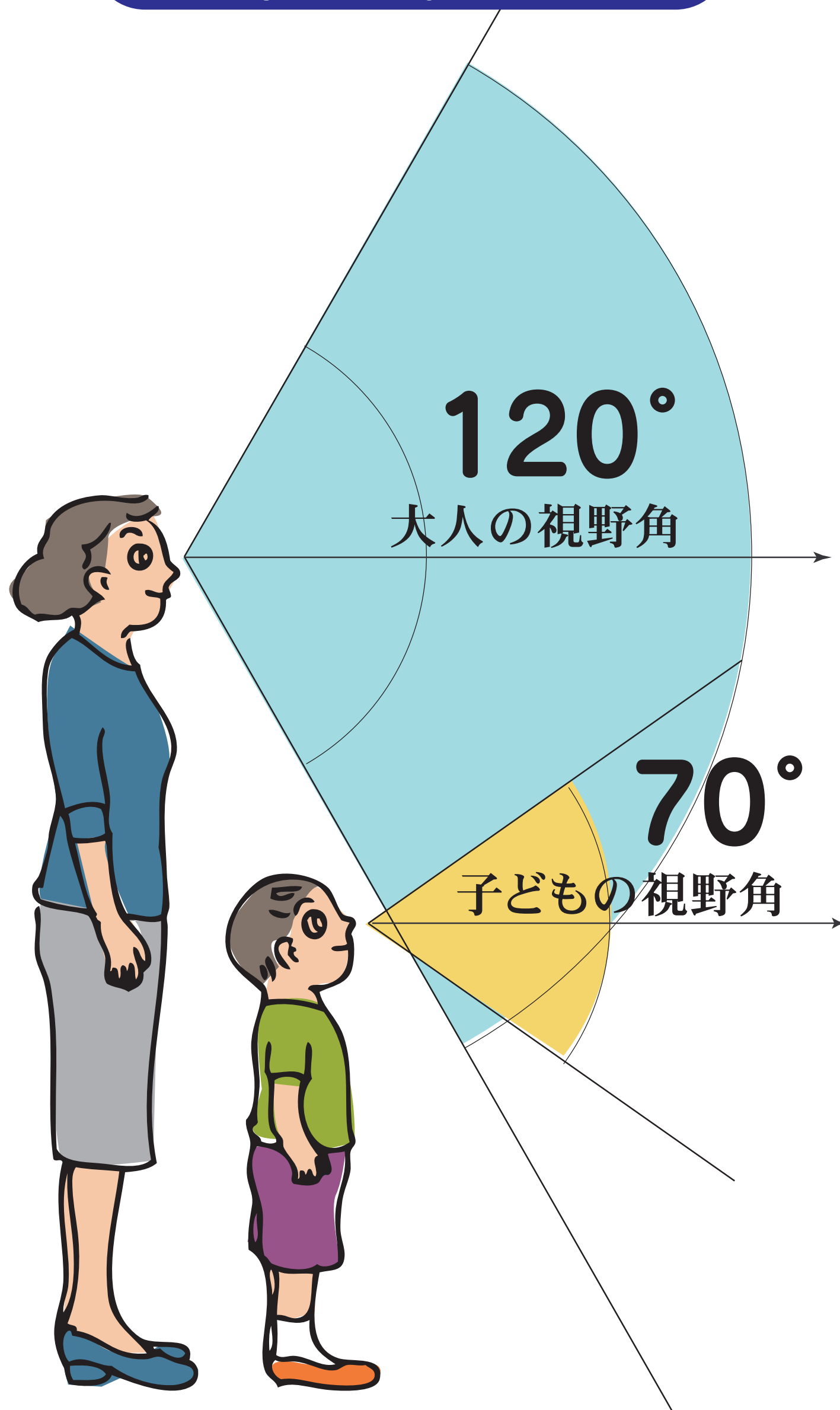
上下の視野角

120°

大人の視野角

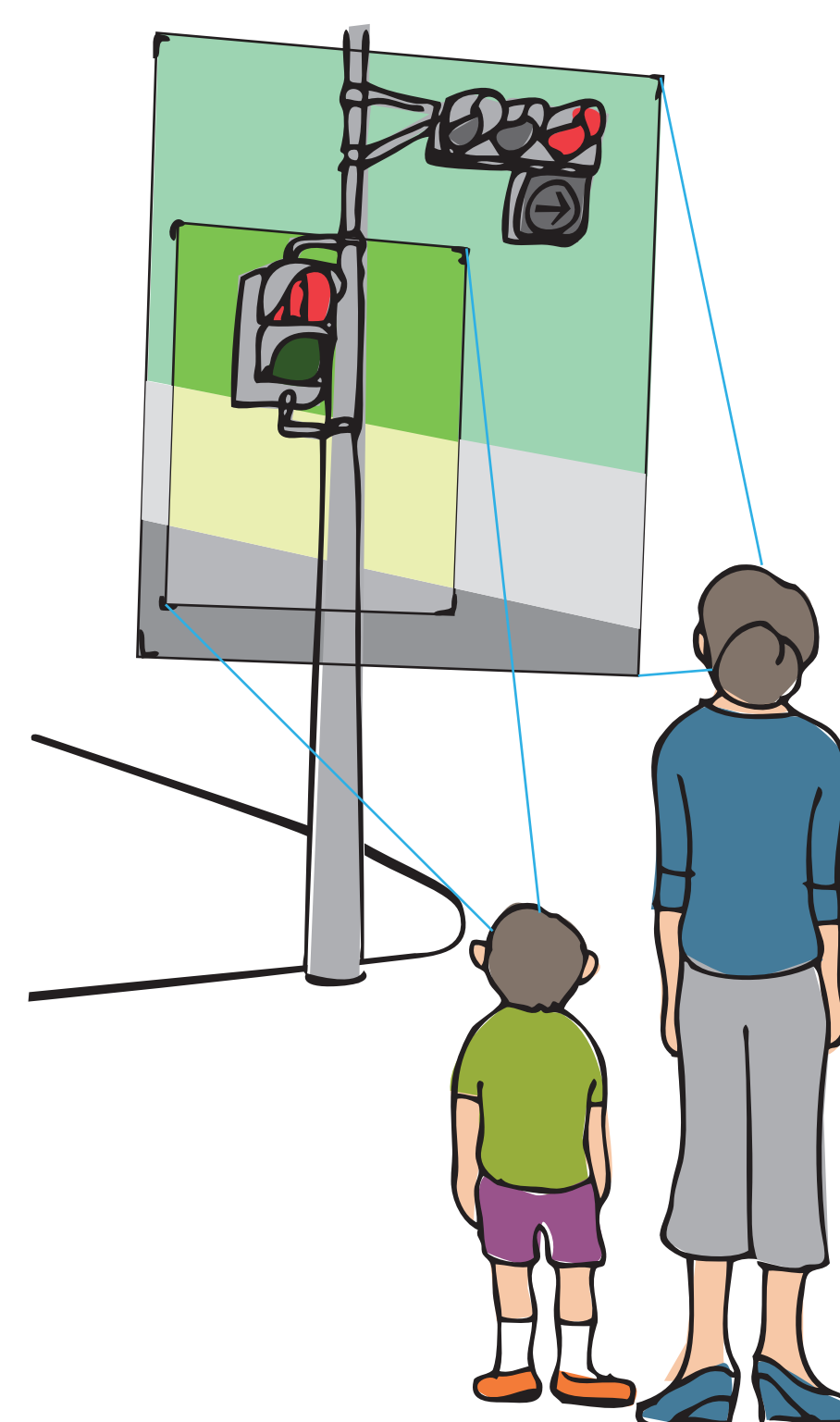
70°

子どもの視野角



●屋外でも…。

大人の目にはあたりまえでも、子どもには見えていないことが多い。首を上下左右に動かして確認することを教えましょう。



●大人の視野が狭くなるのが…。

携帯電話などを操作している時、大人の視野は、非常に狭くなります。そのため子どもを見守っていたはずの大人が、子どもの行動に気づかず、事故につながります。